



第 24 回例会報告(1月12日)

【出席報告】

・会員数	54名	・出席数	36名	・欠席数	18名
・当日出席率	72.72%	・前々回修正出席率	95.83%		

<欠席会員> 藤田、原、檜垣(俊)、檜垣(巧)、川上、楠本、村上(裕)、越智(務)、大澤、重松、竹田、藤堂
〔免除会員〕原田、門田、金森、松本、村上、八木

<12/15欠席補填>(12/13今治南)藤田、檜垣(俊)、吉良、島田、重松、吉田 (12/19今治北)原、小堀、村上(裕)、田中

乾杯挨拶・白石洋治会員から「壬辰という辰は、いろいろな事が成長する年です。被災地の復興も含め多方面が良い方向へ発展するように祈念いたします。」と乾杯のご発声がありました。

会長報告・国際ロータリー日本事務局より、村上修三会長へマルチプル・ポール・ハリスフェローピンが、青野淳一会員、青野賢治会員、板脇ゆか会員へポール・ハリスフェロー認証状とピンが届きました。

・竹田会員よりご令室様葬儀の際のお礼について、多数の会員の皆様にお心遣いいただきましてありがとうございます。本来ならば例会へ出席しご挨拶すべきですが、会長より伝言にて失礼いたします。

幹事報告・2011-2012年度下半期年会費の納入をよろしくお願いいたします。

親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・島田雄二郎会員：年末年始は、12/14に脳静脈瘤の手術、29日退院、30日は銀行の年内最終営業日、31日は義父の逝去とばたばたしていました。以前は年をとればゆっくり年越しが出来ると思っていましたが、実際は逆で自身や身内の健康状態で忙しく過ごすようになるかもしれないと感じました。見た目は術後の傷口も目立ちませんが、得た物は脳の中のクリップ、失ったものはタバコです。

年男の抱負

檜垣圭之介会員：還暦を迎え節目の年で、健康が一番大切だとお正月に考えました。元旦の日経新聞の広告で”やせ形で下腹部がぼっこり出ている体型”で、これは腹筋が減少し胃腸が下垂気味とのこと知り、今後は腹筋を鍛え次の年男も健康で迎えたいと思います。渡邊道信会員：生まれた年の壬辰は、サンフランシスコ平和条約・日米安保条約締結、オリンピックに復帰するという敗戦から立ち直りつつある“昇竜”の雰囲気がありました。今年は、前の辰のように上り調子で皆様にとってよい一年になりますように。そして、健康に留意し仕事もRCも頑張っていきます。渡辺易廣会員：還暦には生まれ変わりの意味もあるようなので、今までの失敗は洗い流してさっぱりした気分で迎えたいです。しかし、趣味のマンガ読書は続けます！今年はおんまく実行員会の委員長も引き受けました。こちらは将来にわたって続けていく行事なので、若返って頑張りたいと思います。矢野暢生会員：平均寿命でいえば、残りが四分の一になりました。線香花火は最後が最も綺麗に輝きます。これからの人生、線香花火のように美しく輝いていきたいです。島田雄二郎会員：孔子の論語に「吾れ十有五にして学に志す。三十にして立つ・・・」という言葉があります。30歳までは教え通りでしたが、40歳頃から孔子の言葉から現実が離れていくような気がします。60歳は還暦で振り出しに戻るということで、restartの年にしたいです。吉田透会員：生まれた年は東京五輪の年で、24歳の年男の時はバブル絶頂期で建築現場の足場から大阪の街をみると、クレーンが30台は稼働する景気の良い時期で、36歳で社長に就任と節目になる年でした。その節目の間で人付き合いの大切さを学びました。今年「朝は希望に起き、昼は謙虚に生き、夜は感謝に寝る」の気持ちで過ごそうと思います。吉武誠治会員：最後の旧人類で、昭和・平成を24年ずつ生きてきました。小泉内閣での構造改革で勘違いされている無駄が省かれ、日本がデフレから脱却できないと思います。デフレ脱却のために、機会があるたびに良く通る大きな声で沢山の人がデフレ脱却の考えを伝えていきたいです。小堀陽一郎会員：辰年生まれの方は、温和な表情の持ち主ではあるが、気位・理想が高く、強い意志を持った方が多いそうです。当クラブの年男の方もそのようにお見受けします。ちなみに奥様も辰年生まれで、2頭の辰が住んでいるのでなかなか賑やかな家庭です。できれば辰年生まれの子供が出来ればと思います。

次回例会(1月19日)

【パストガバナー卓話】

<会員誕生祝> 越智 健司氏(1/19) 竹田 春夫氏(1/21)

<結婚記念祝> 平尾浩一郎氏(1/20)

〔 健寿司 〕